

平成20年漁況通報(年報)

平成21年3月4日
大阪府環境農林水産総合研究所
水産技術センター

巾着網(中部標本船)

カタクチイワシが7~9月に多く漁獲されたが、一昨年・昨年には及ばなかった(図1)。

船びき網(南部標本組合)

イカナゴ漁は2・3月に行われ、漁獲量は昨年を越えたものの平年を下回った(図2)。

イワシシラスは5~7月に春漁が行われ、6・7月は平年並みであった。近年不漁が続いていた秋漁は9~12月に行われ、10月は豊漁となった(図3)。

すずき流網: 中部標本船は5~10月に漁が行われ、7・8月は好漁であった(図4)。

さわら流網: 南部標本組合の1日当たりの漁獲はほぼ平年並みであったが、漁獲量は昨年には及ばなかった(図5)。

かれい刺網: 中部標本船のマコガレイは、周年不漁であった(図6)。

あなご籠: 中部標本船の漁獲量は、1年を通じて不漁であった(図7)。

タチウオひきなわ釣り: 中部標本組合では9~12月に漁が行われ、11・12月は平年を越えた(図8)。

図1

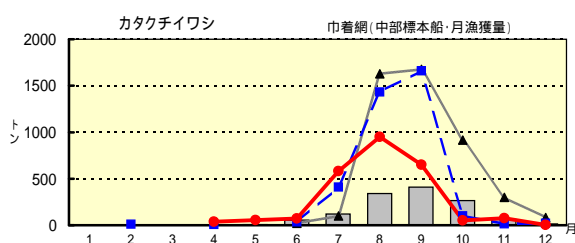


図2

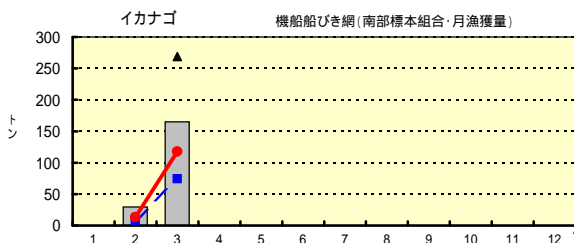


図3

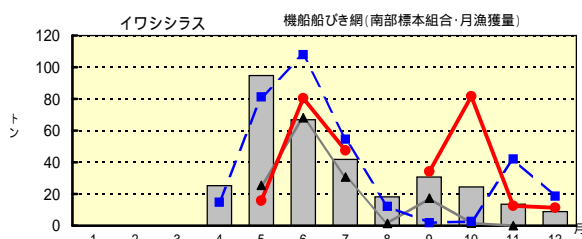


図4

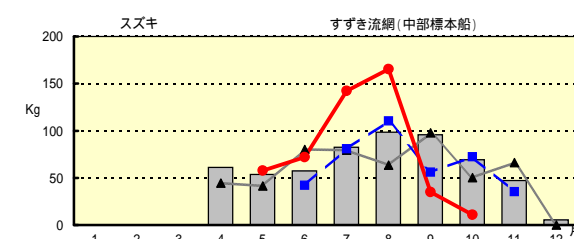


図5

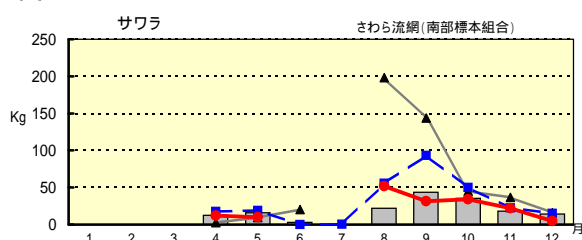


図6

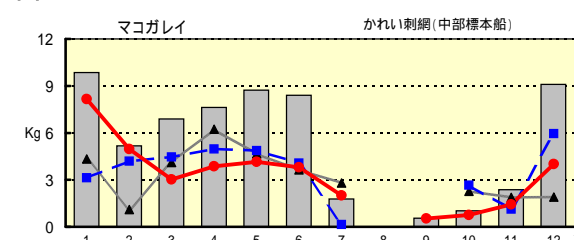


図7

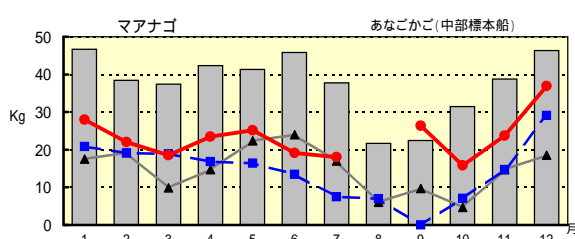


図8

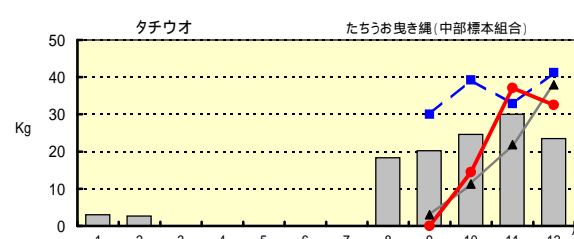


図1は標本船の月漁獲量、図2・3は標本組合の月漁獲量、それ以外は1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成20年 - - 平成19年 ▲ 平成18年

小型底びき網

石げた網(中部標本組合)

マコガレイは、周年著しい不漁であった(図9)。

メイタガレイは、6・7月はやや不漁であったが、それ以外は好漁であった(図10)。

シタ類は一年を通じて平年を大きく越え、豊漁であった(図11)。

ネズツボ類(ガッチョ)は3～6月に豊漁であったが、その後減少し不漁となった(図12)。

マアナゴは、6～8月に平年を上回る漁獲があった(図13)。

ガザミ(ワタリガニ)は平年を少し上回る漁獲であった(図14)。

ヨシエビ(シラサエビ)は8月にやや多かったものの、周年平年以下の漁獲であった(図15)。

クマエビ(アシアカ)は、昨年同様、10・11月に豊漁であった(図16)。

小エビ類は5～8月まではやや好漁であったが、10月以降は不漁となった(図17)。

シャコは周年平年を下回り、不漁であった(図18)。

図9

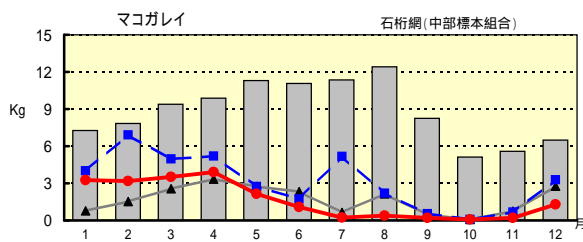


図10

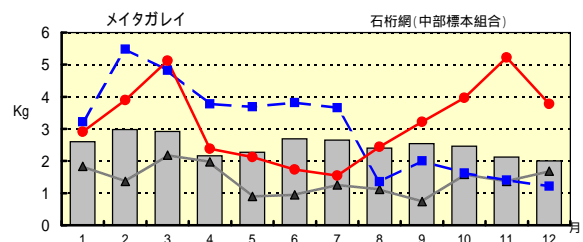


図11

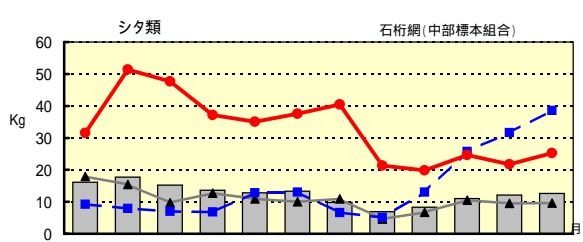


図12

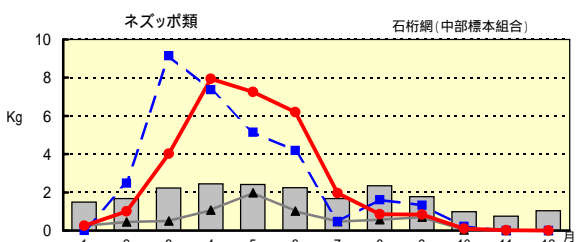


図13

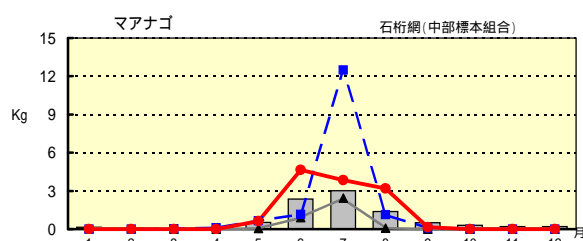


図14

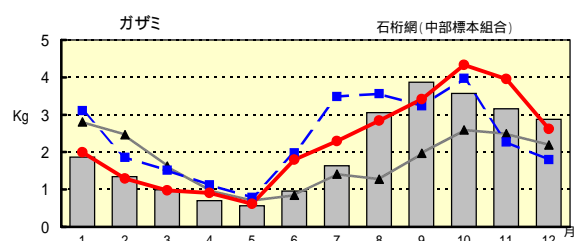


図15

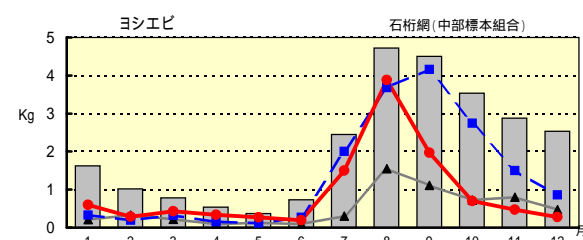


図16

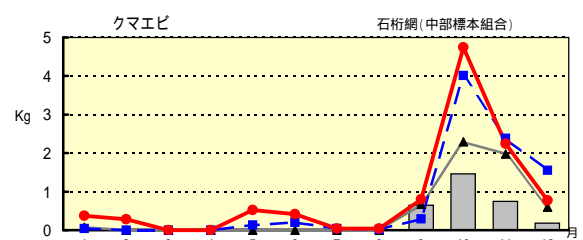


図17

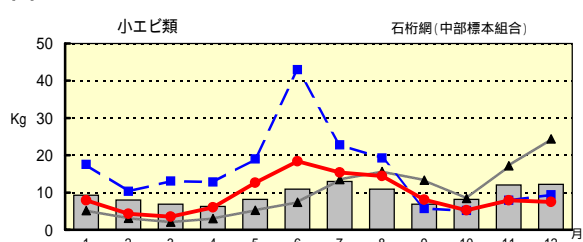
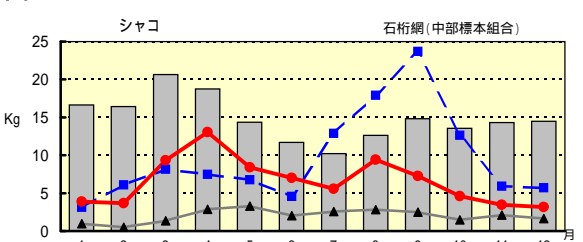


図18



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成20年 - - 平成19年 ▲ 平成18年

アカガイは2～4月は豊漁であったが、それ以外はほぼ平年並みであった(図19)。
 トリガイは一昨年は1～7月に大漁であったが、今年は9～11月に豊漁であった(図20)。

板びき網

中部のアジ類は、1・2月に豊漁であった以外は、ほぼ平年並みであった(図21)。
 中部では10・11月にマサバが豊漁であった(図22)。
 中部のスズキは、周年平年を上回り好漁であった(図23)。
 中部のタチウオは1月は豊漁であったが、2月以降平年並みとなった(図24)。
 中部のマダイは6～8月に豊漁であったが、10月以降平年を下回った(図25)。
 中部のクロダイ(チヌ)は近年好調で、特に4・5月に豊漁であった(図26)。
 ハモは近年漁獲量が増えており、中部では7・8月に、南部では5～9月に豊漁であった(図27・28)。

図19

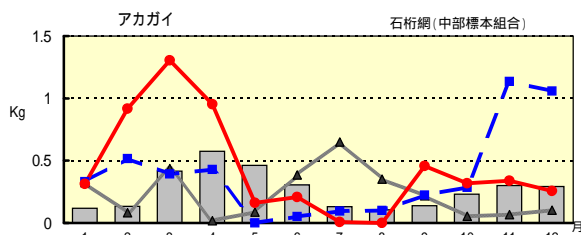


図20

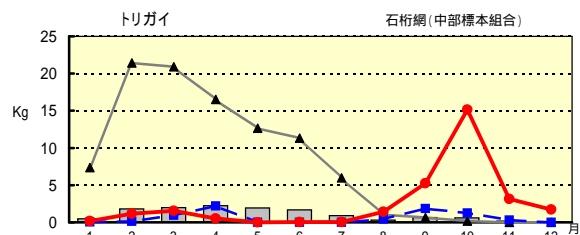


図21

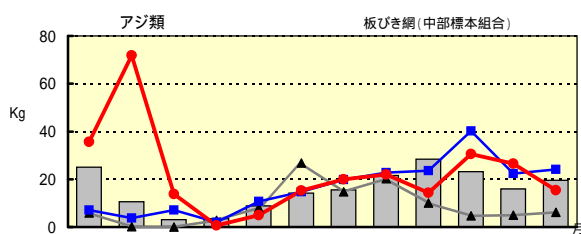


図22

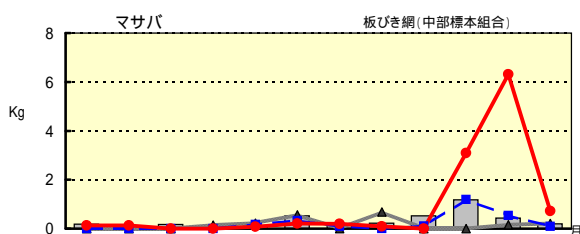


図23

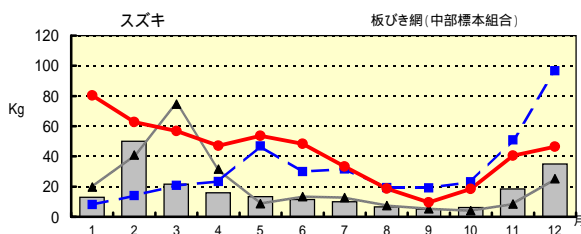


図24

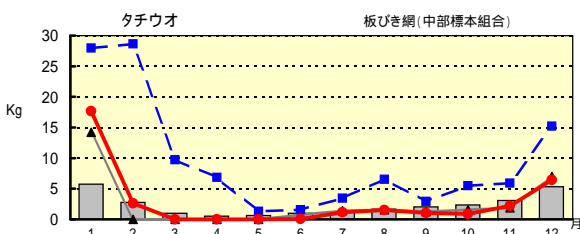


図25

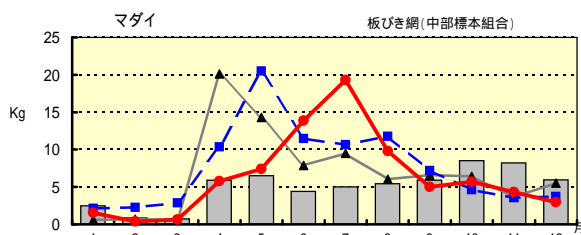


図26

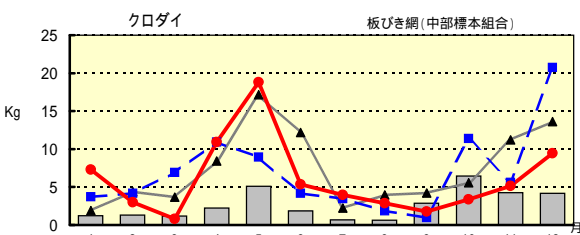


図27

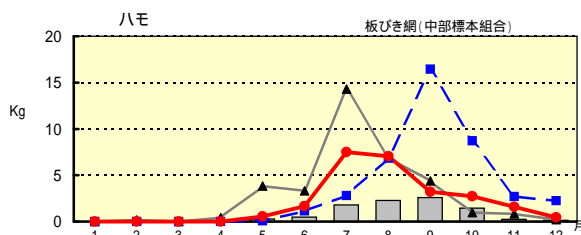
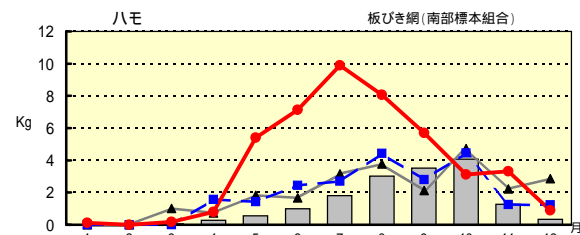


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値

● 平成20年

■ 平成19年

▲ 平成18年

中部のマナガツオは、1月に豊漁だった以外は平年をやや下回った(図29)。
 中部のイボダイ(ウボゼ・シズ)は好漁で、特に8・9月に多かった(図30)。
 中部のシログチ(クチ)は、1～4月は比較的好漁であったが、その後は平年並みであった(図31)。
 南部のカワハギ(ハゲ・コウベ)は1・2月は平年並みであったが、9月以降は不漁であった(図32)。
 南部のメイタガレイは2月を除き不漁であった(図33)。
 中部のマダコはほぼ平年並みの漁獲であった(図34)。
 コウイカ類は10・11月に中部で豊漁であったが、南部は平年並みであった(図35・36)。
 中部のジンドウイカ(ヒイカ)は、年間を通じて比較的好漁であった(図37)。
 中部のナマコは1～4月に好漁であった(図38)。

図29

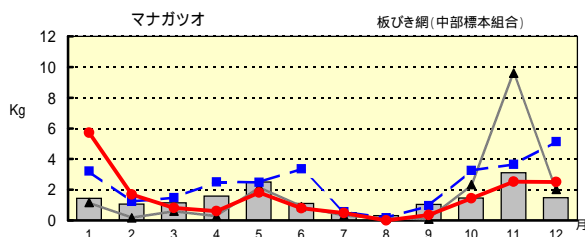


図30

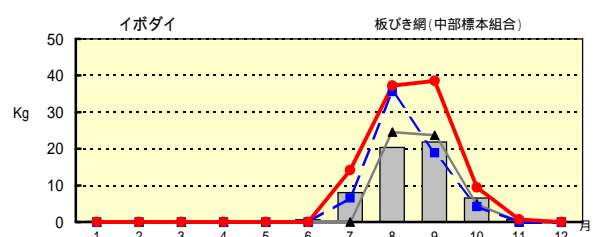


図31

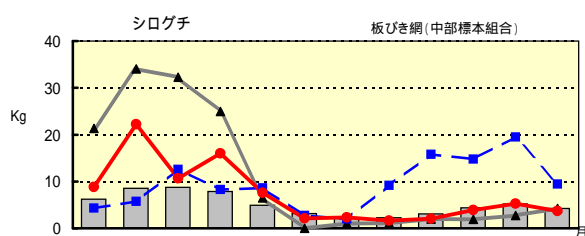


図32

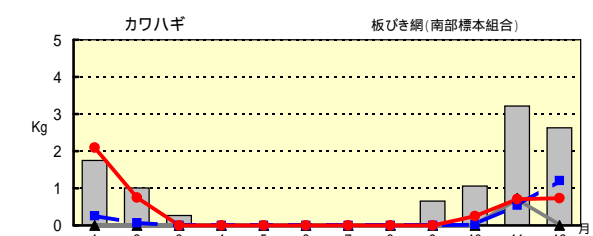


図33

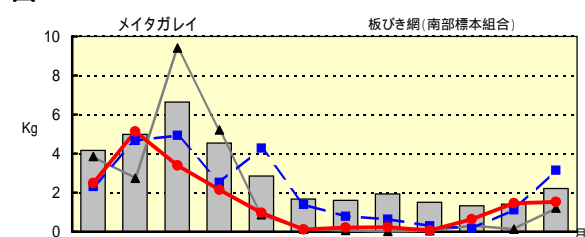


図34

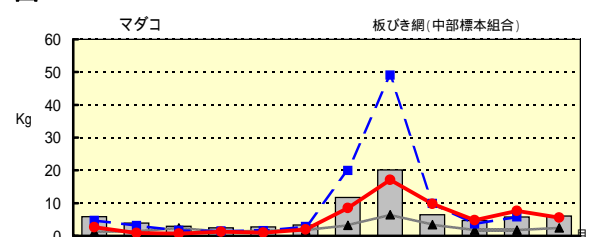


図35

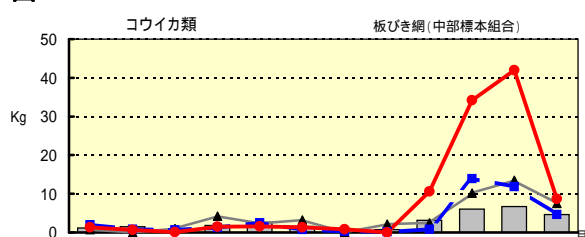


図36

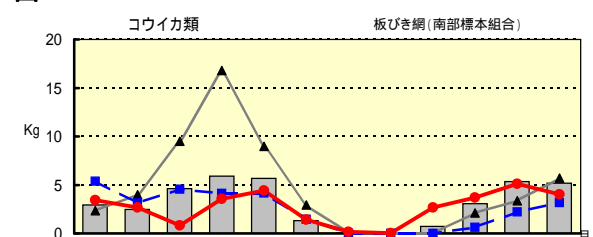


図37

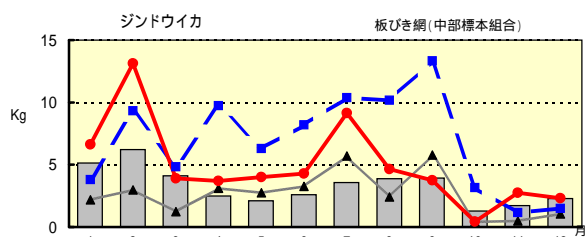
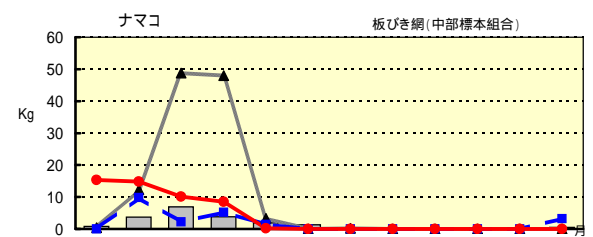


図38



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ● 平成20年 - - 平成19年 ▲ 平成18年